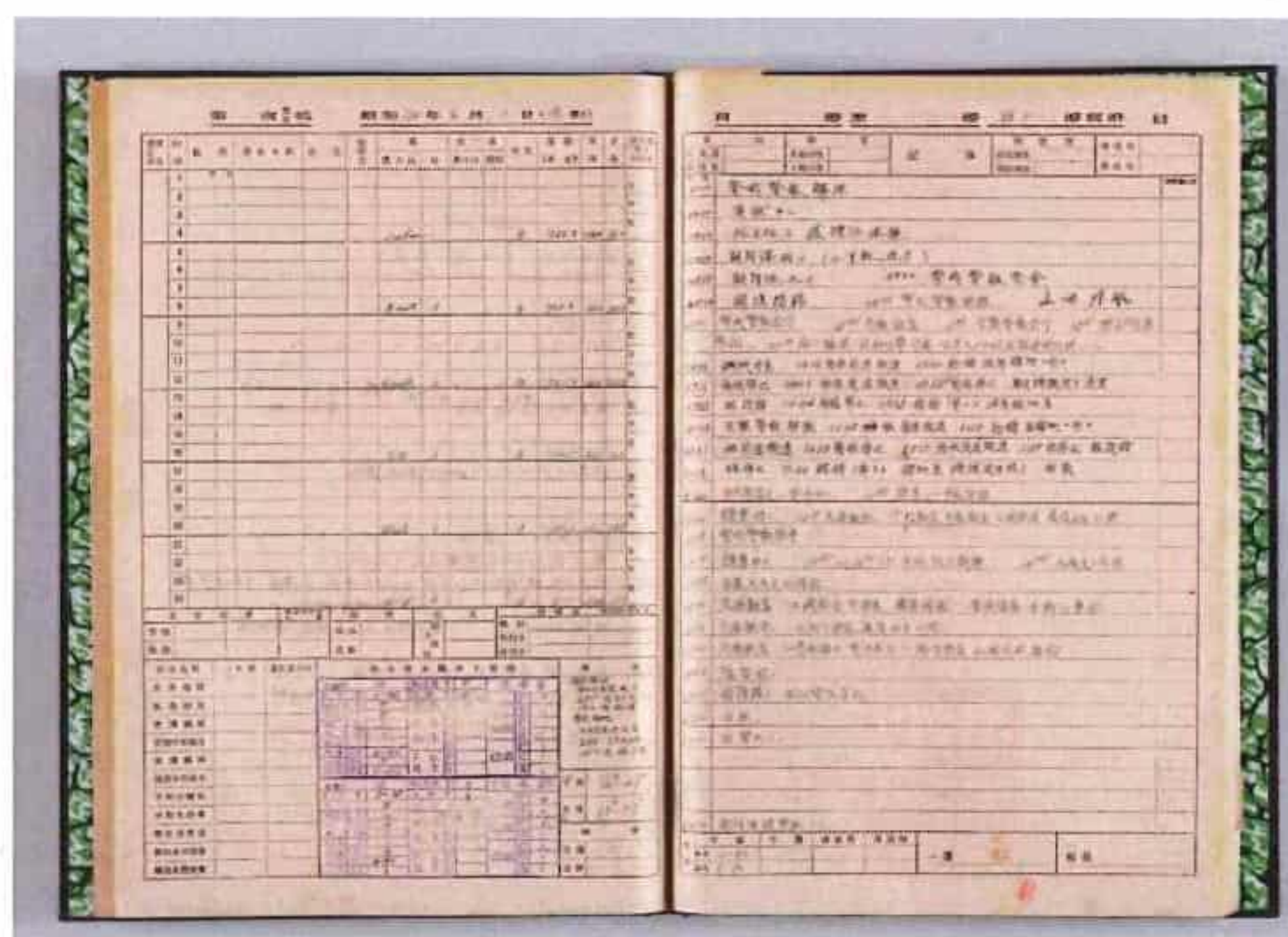


帆船日本丸 日本語記載の航海日誌 データ等公開開始

- ◆2025(令和7)年は戦後 80 年の節目の年です。横浜みなと博物館では太平洋戦争にまつわる所蔵資料のうち、「帆船日本丸の日本語記載の航海日誌のデータ等」を8月15日(金・終戦の日)から公開します。
- ◆太平洋戦争中、帆船日本丸は瀬戸内海で緊急物資輸送を続けながら、国からの船員養成にこたえて、航海訓練を続けていました。
- ◆帆船日本丸の航海日誌は通常英文筆記体で記されますが、戦時下ということもあり、1942(昭和17)年8月から1945(昭和20)年9月までは日本語で記されました。
- ◆太平洋戦争中の帆船日本丸の様々な活動を知っていただくとともに、戦争と船、そして船員について知り考えるきっかけとしていただければと思います。



1945(昭和20)年6月1日の航海日誌
この日は第二次大阪大空襲のあった日で、
神戸に停泊していた日本丸も疎開錨地(そかいびょうち)へ移動した、との記載がある

- ◇資料データ等の公開は横浜みなと博物館ライブラリーで行います。1日分(2ページ)をA3判に出力した冊子(紙ベース 全12冊分)またはデジタルデータで閲覧できます。※館内ライブラリーは有料。開館時間は横浜みなと博物館と同じです
- ◇冊子及びデジタルデータの閲覧にはライブラリー入室料金に加えて、利用料金が別途必要です。半日あたり1000円です。利用方法についてはWEBサイトをご確認の上、ご利用ください
- ◇日本語記載の航海日誌から読み取れる、戦時下の日本丸の活動を紹介するパネル展を開催します。
会期 8月15日(金・終戦の日)～11月16日(日) 会場 横浜みなと博物館 ロビー(無料ゾーン)
- ◇助成 一般財団法人 山縣記念財団 ◇後援 横浜市港湾局

★お問い合わせ先

公益財団法人 帆船日本丸記念財団(帆船日本丸 横浜みなと博物館)

TEL:045-221-0280 FAX:045-221-0277 <https://www.nippon-maru.or.jp/>

学芸課 島宗(しまむね)／営業企画課 和田